

団体名	特定非営利活動法人 震災から命を守る会
活動テーマ	平成 29 年「1.17 阪神淡路大震災からの教訓」



左上 大阪府支部、左下和歌山県本部、右上岐阜県支部、右下和歌山御坊支部です。

わが国は、活断層の上に国土を持ち、豊かな大自然と共に先祖伝来、生活してきました。自然は私たちを生かしてくれる大切な恵みですが、その姿は自然災害という驚異に、いつ変貌するかわかりません。災害が発生すれば幼児、老若男女に関わらず みんなが被災します。災害時には、子ども自身が身を守る意識の有無で生死が分かれるかもしれません。少子社会の今こそ、子どもを守る基礎教育が不可欠です。みんなで減災を考え、地震に揺らがない国づくりへの準備のひとつとして、次世代の子どもに“自分の命は自分で守る”自覚意識を育てるきっかけの場を、国内 5 都府県 6 か所に設け今年の 1 月 17 日、22 年前に阪神淡路大震災が起きた時の教訓を、548 名の児童が命を守るセミナーを楽しみながら体験してもらいました。子どもたちに、すぐ成果が生じるかということ、それはわかりません。しかし、訓練を体験した人としていない人の差は、歴然としています。児童が成長する過程で災害に遭遇した時に、初めて成果として現れるでしょう。大人になっても、幼い時に真剣に体験した記憶は“いざ”という時に目覚め、心と体を動かします。

当会本支部長が講師として精いっぱいお話ししたことを、家に帰って両親や家族に話してもらうことが、すなわち命を守る予防防災として児童の命を守り、ご家族、周囲の皆さんの命を守ることに繋がって行くものと思います。